オプトの広告品質向上の取り組みについて

株式会社オプト

© 2026 OPT Inc.

目次

- オプトの広告品質向上への取り組みについて
- 取り組み内容①独自対策
- 取り組み内容②お客様のニーズにあわせた対策
- Appendix

© 2026 OPT Inc.

オプトの広告品質向上への取り組みについて

お客様の広告が適切かつ安全に配信されるよう
ブランドセーフティやアドフラウドなどデジタル広告の課題に対して
業界ガイドラインをもとに取り組みを推進しております。

JICDAQ品質認証事業者
https://www.jicdaq.or.jp/list/
JIAAブランドセーフティガイドライン
https://www.jiaa.org/gdl_siryo/gdl/brandsafe_gdl/
JIAA無効トラフィックガイドライン
https://www.jiaa.org/gdl_siryo/gdl/ivt_gdl/

© 2026 OPT Inc.

取り組み内容①独自対策

ブランド毀損やアドフラウドリスクの高いドメイン情報を
専門部署で管理し、オプト独自の配信除外対策を実施しております。

リスクのあるドメイン 情報の把握・管理	配信除外対応
JIAAから提供される情報（IHC、CODA）や 第三者ツール※で検知された情報を専門部署で管理。	左記データをもとにリスクの高い配信面の リストを定期更新し、媒体へ配信除外リスト として適用。

※Momentum社のHYTRA DASHBOARDを利用。

© 2026 OPT Inc.

配信除外対応については以下基準と内容で実施しております。

対応基準	・JIAAの配信除外リストの適用ができない媒体 ・JIAAリスト適用をしている媒体については、取引状況、お客様ニーズ、 オプト独自の配信除外リストに含まれる配信面への配信率調査をもとに 適用を決定。
対応中の媒体	Google ディスプレイネットワーク（GDN）、Logicad、KANADE、RTB House、Amazon DSP、Yahoo!広告 ディスプレイ広告（運用型）、Microsoft Advertising
配信除外リストの内容	JIAAから提供される情報（IHC、CODA）や第三者ツールで検知された情報を専門部署で管理、集約。それらデータをもとに広告に不適切なドメインリストを作成。
配信除外リストの更新頻度	月1回担当者がリストを作成し、各媒体または社内オペレーション部門へ設定・適用を依頼。（Google ディスプレイネットワーク（GDN）のみ第三者ツールとシステム自動連携で日別で最新リストに更新）

※2026年10月現在

© 2026 OPT Inc.

取り組み内容①独自対策 _今後の追加対策

今後は、以下に示す追加対策の実施を予定しております。

主要媒体すべてにて除外リストを適用

前頁の除外リストを以下媒体に適用
Criteo・Meta広告・TikTok for Business

※2026年10月現在

© 2026 OPT Inc.

取り組み内容①独自対策 _対策で利用している情報ソース①　JIAAから提供される情報

**著作権保護団体の一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構や
警察庁が運営を委託しているインターネット・ホットラインセンターから
提供される、広告に不適切な情報。**

除外カテゴリ	
著作権侵害	違法
有害	自殺誘引サイト

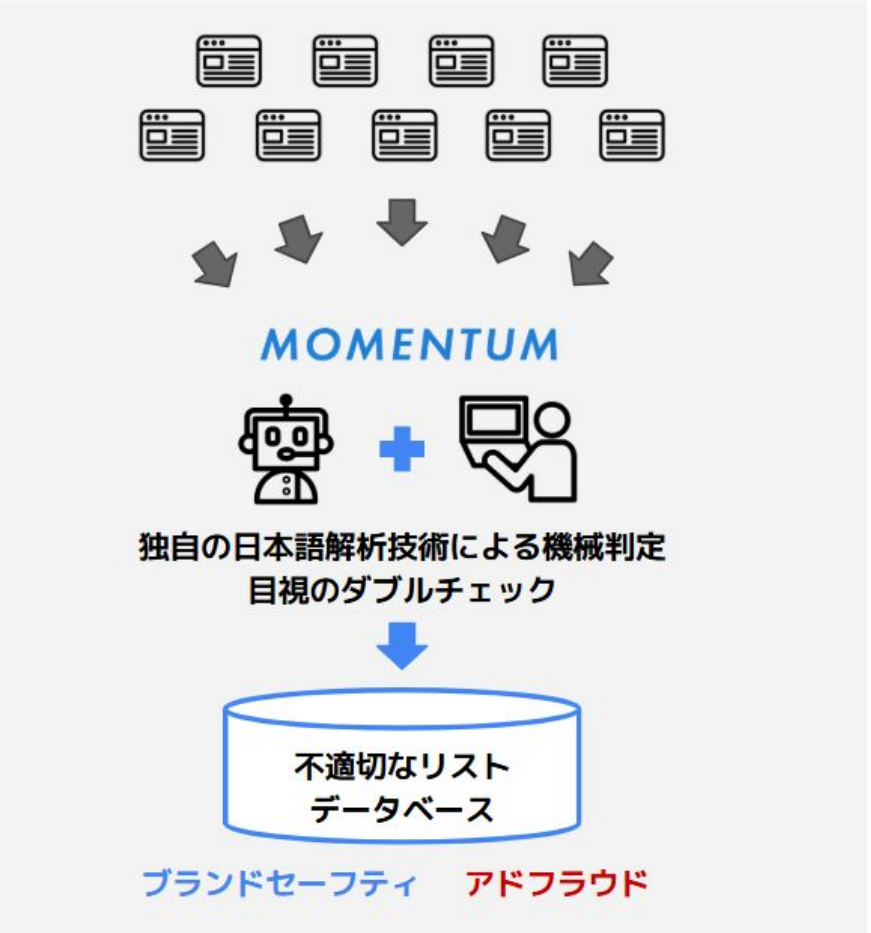
© 2026 OPT Inc.

取り組み内容①独自対策 _対策で利用している情報ソース②　第三者ツールで検知された情報

Momentum社から提供される広告に不適切なドメイン情報。

HYTRA DASHBOARDフロー

国内最大規模となる
月間約11億URLのデータを
解析



© 2026 OPT Inc.

取り組み内容②お客様のニーズにあわせた対策

お客様の広告掲載基準のニーズにあわせて、アドベリフィケーションの
ソリューションをご提供しております。
お客様独自の掲載基準での配信をご希望の場合は、ご相談ください。

ブランドセーフティ対策	アドフラウド対策
媒体機能やアドベリフィケーションツールの利用	アドベリフィケーションツールの利用

© 2026 OPT Inc.

取り組み内容②お客様のニーズにあわせた対策 _ブランドセーフティ対策

お客様のKPIやプロモーション内容に応じて対策をご提案。

パフォーマンス重視向け

ブランド重視向け

ブランドセーフティ対策	掲載面の安全性	広告掲載単価	対策方法	
			第三者ツール利用	媒体機能利用
ブラックリスト除外配信 【メリット】 広告へのパフォーマンス影響が比較的出にくい。 【デメリット】 掲載面を完全に制御しきれない。本対策だけだとどれだけ防げたか、どれだけ防げていないかは不明。	△	◎ 安価	**■Momentum社のHYTRADASHBORDを利用した除外配信** Momentum社と連携している媒体（Supership系など）の広告枠の情報からブランド毀損やアドフラウドリスクのあるドメインを提供するサービス。Google ディスプレイネットワーク（GDN）は自動での除外リスト連携可能。 **■JIAAブラックリストを利用した除外配信** JIAAから提供される違法サイト情報。 オプト独自対策	**媒体ブランドケア機能（一例）** **■Google ディスプレイネットワーク（GDN）** コンテンツ除外設定 **■YouTube** 制限付きモード **■Meta広告（Facebook・Instagram）** 外部ネットワーク面やライブストリーム配信OFF インベントリフィルター **■X** 外部ネットワーク配信OFF **■Display & Video 360（DV360）、Amazon DSP、MicroAd、KANADE、Logicad** pre-bidの利用。 ※媒体入札時に配信面をチェックし、ブランド毀損になる配信面の入札ブロック。
ホワイトリスト配信 【メリット】 掲載面が保証される。 【デメリット】 リスト数によっては、インプレッション在庫が少なくなり広告効果への影響が出る懸念あり。ドメイン偽装でホワイトリストを突破され配信されるリスクあり。	○	○ 中～低	**■Momentum社ホワイトリストサービス** 広告主ごとにオーダーメイドでリスト作成。（Momentum社を弊社よりお客様へご紹介。） **■過去の配信結果レポートのホワイトリスト化** 過去のGoogle ディスプレイネットワーク（GDN）配信結果レポート等をもとにホワイトリスト化。（リスト作成の進め方はお客様と要ご相談。）	
アドベリフィケーションツール 【メリット】 URLごとの掲載面＋記事内容安全性確保。 【デメリット】 アドベリフィケーションツール導入不可の媒体あり。限りなくブランド毀損ゼロに近づくがゼロではない。	◎	○ 中～低	**■post-bid** バナー配信時、ブランド毀損になる配信面の場合、白抜きバナーへ差し替え。 └Google ディスプレイネットワーク（GDN）、Yahoo!広告 ディスプレイ広告（運用型）等 **■計測** 配信面の計測モニタリング └Google ディスプレイネットワーク（GDN）、Yahoo!広告 ディスプレイ広告（運用型）等	
純広告、ソーシャル 【メリット】 掲載面完全保証。 【デメリット】 純広告は割高。	◎	△ 高～中	**■Instagram／X** ソーシャル広告については媒体以外のネットワークへの配信機能デフォルトオフ。 **■PMPメニュー** PORTO、Display & Video 360（DV360）など	

※検索広告については独自の広告不適切キーワードリストによる除外配信対応も可能です。詳細は担当者までお問合せください。

© 2026 OPT Inc.

取り組み内容②お客様のニーズにあわせた対策 _アドフラウド対策①

第三者の視点でアドフラウドの計測、解析を行い、不正なアクセス元への広告配信をブロックするソリューションをご提案。

ベンダー名	Spider Labs
サービス名	Spider AF
概要	Google ディスプレイネットワーク（GDN）等の運用型広告のアドフラウド発生状況を計測し、レポーティング。さらに Google ディスプレイネットワーク（GDN）についてはアドフラウドと思われるアクセス元やブランド毀損となる配信面を APIで自動で配信対象から除外。

※CHEQ for PPCは弊社よりベンダー様をご紹介し、お客様と CHEQ様でのご契約となります。Spider AFについては弊社商流でのご契約も可能です。各ツールの詳細は別途弊社担当者にお問合せください。

© 2026 OPT Inc.

取り組み内容②お客様のニーズにあわせた対策 _アドフラウド対策②

WEBサイトに流入したユーザーを解析し不正ユーザーを特定、再訪問を防止。
対応が難しかった検索広告のアドフラウド対策も可能に。

ベンダー名	Momentum
サービス名	HYTRA HORNET
概要	WEBサイトに流入してきたユーザーを解析し、最新の AI技術で不正ユーザーを特定。各広告プラットフォームの除外設定（オーディエンス）へ自動連携することで、不正ユーザーの再訪問を防止。 これまで対策が難しかった「検索広告（リスティング広告）」への対策も強力にサポート。

※ツールの詳細や料金形態は別途弊社担当者にお問合せください。

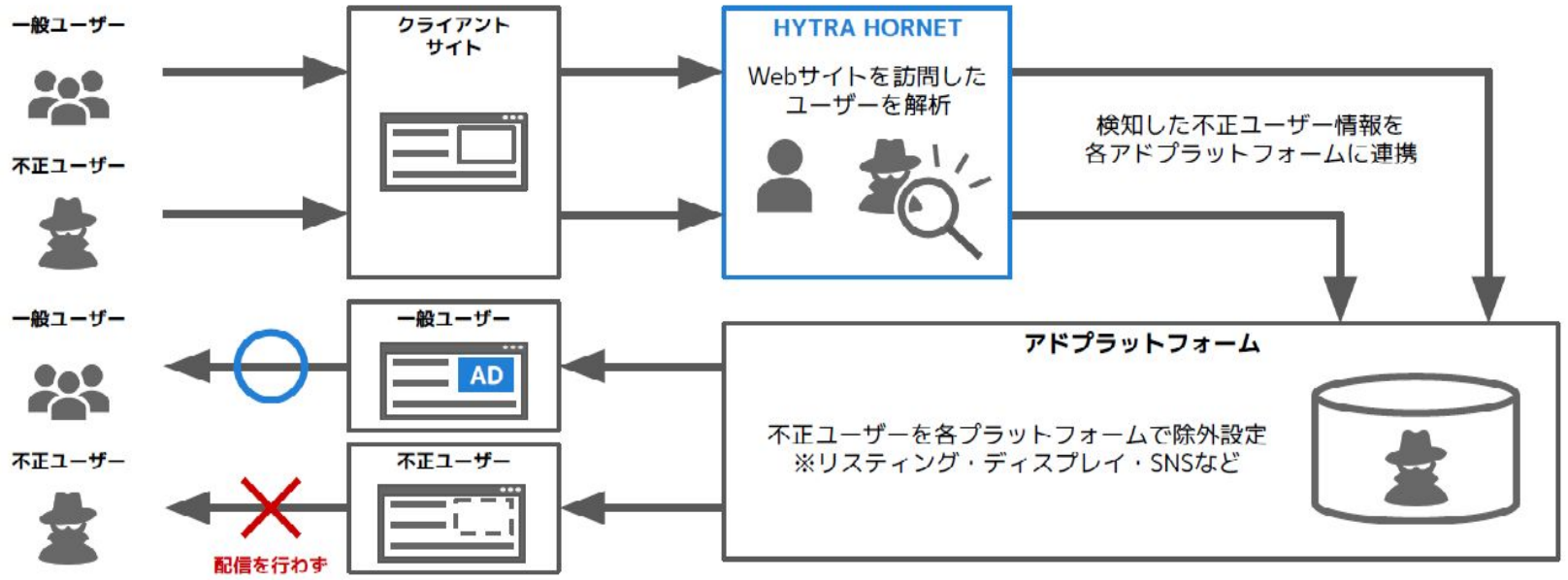
© 2026 OPT Inc.

取り組み内容②お客様のニーズにあわせた対策 _アドフラウド対策② _不正検知の仕組み

Momentum社の不正ユーザー特定ツールです。
Google広告・Yahoo!広告・Microsoft Advertisingなどの検索広告や
ディスプレイ広告、各種 SNSなどに対応。

不正検知の仕組み

WEBサイトに流入してきたユーザーを解析し不正ユーザーを特定。各アドプラットフォームで
除外オーディエンス設定をおこなうことで、不正ユーザーの再訪問を防止します。



© 2026 OPT Inc.

Appendix：JIAAのガイドラインで定められているブランド毀損の定義

■ 広告掲載不適切コンテンツカテゴリ

広告関連事業者は、広告掲載先であるサイト、コンテンツ、アプリケーション（サイト等）の品質を確保するため、各事業者において以下のいずれかのコンテンツカテゴリに該当する違法なサイト等への広告掲載の排除に努める。

コンテンツカテゴリ	犯罪助長	猥褻・違法な性表現	死・暴力	詐欺	差別・人権侵害	商標権・著作権侵害	違法薬物	その他違法・不当社会通念上不適切
コンテンツ例	自殺・殺人幇助・教唆	売春	武器・銃刀の売買	詐欺・悪質商法	プライバシー侵害	偽ブランド品・模倣品・偽造品	覚せい剤の販売・肯定	
		児童ポルノ			ヘイトスピーチ	海賊版サイト	危険ドラッグの販売・肯定	
					誹謗中傷・名誉毀損	リーチサイト※		

※インターネット上にある違法コンテンツに利用者を誘導するためのリンク（URL）を集めて掲載するサイト

■ ブランド毀損リスクコンテンツカテゴリ

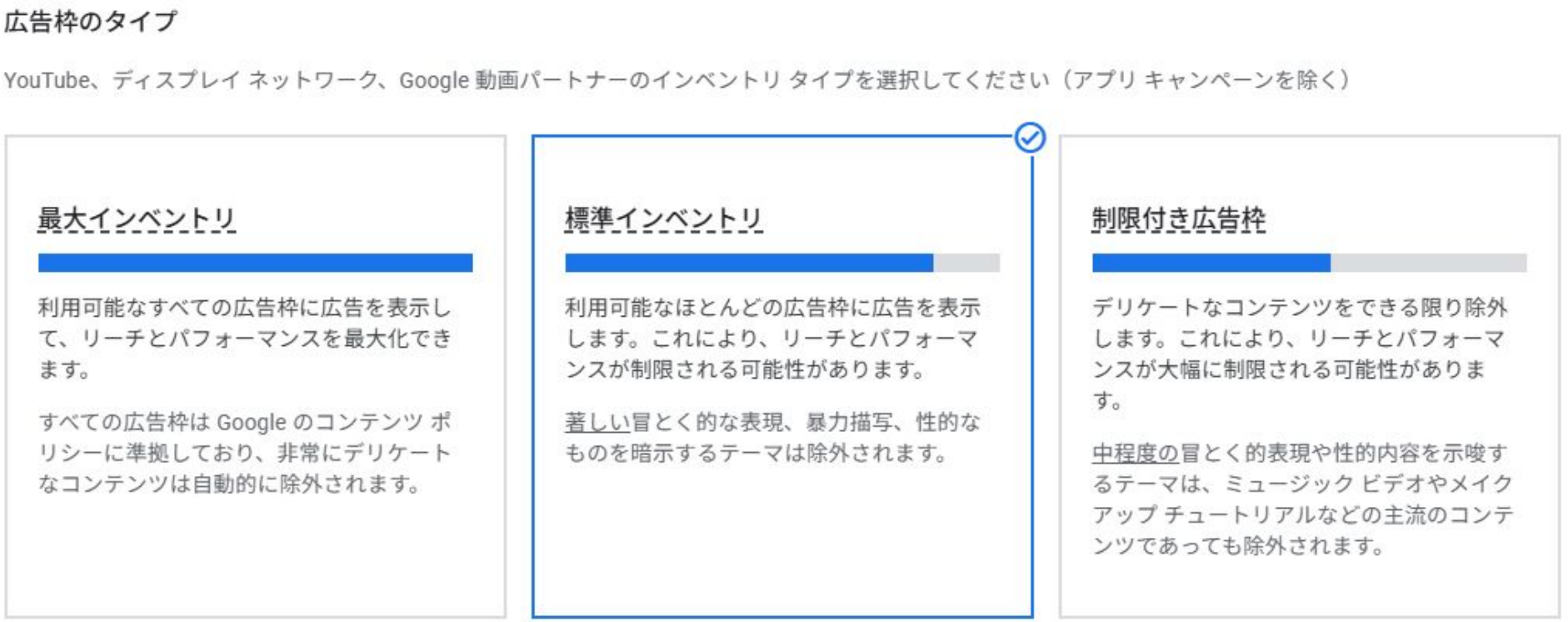
広告関連事業者は、以下のようなコンテンツカテゴリに該当するサイト等への広告の掲載により、広告主によってはブランド価値が毀損されるおそれがあることを理解し、広告主および広告関連事業者の間で協議のうえ、必要に応じてこれらのサイト等への広告の掲載の排除に努める。

- 違法・脱法行為に関する情報
- アダルトグッズ販売、露骨な性表現、過剰な肌露出、芸術的なヌード
- 暴力的な表現、醜悪・グロテスク、映画・ゲーム等の暴力表現
- 投機心を著しく煽る表現、非科学的・迷信な情報によって不安を与える表現
- ハラスメントを助長する表現
- 薬物に関する情報
- 「広告掲載不適切コンテンツカテゴリ」にあたるものに関する研究、論説、教育、啓発またはニュース
- 虚偽の情報により社会的混乱を生じさせるもの
- その他、ブランドへの広告主の考え方によっては、リスクとなりうるもの

© 2026 OPT Inc.

Appendix：媒体ブランドケア機能 | Google広告（動画キャンペーン）

ブランドやキャンペーンのメッセージに合わないデリケートなコンテンツを3つのレベルから選択し、除外することが可能。（デフォルトは標準インベントリ。）



詳細：https://support.google.com/google-ads/answer/12764663?hl=ja

© 2026 OPT Inc.

Appendix：媒体ブランドケア機能 | Meta広告（Facebook・Instagram）

フィード広告、コンテンツ内広告、Audience Network広告のそばに表示されるコンテンツの健全性の精度を3つのレベルでコントロール。（デフォルトは拡張インベントリー。）

- **拡張インベントリー**: コンテンツ収益化ポリシーに準拠したコンテンツの近くに広告を表示して、リーチを最大化します。
- **中程度のインベントリー**: 極めて不適切なコンテンツを除外します。リーチの範囲が狭くなり、コストが増加することもあります。
- **制限されたインベントリー**: その他の不適切なコンテンツとライブ動画を除外します。リーチの範囲が狭くなり、コストが増加することもあります。

詳細：https://www.facebook.com/business/help/3001448133206080?id=1769156093197771

© 2026 OPT Inc.